

さくらの里

研究集会を開催

蚕桑の地域おこしを考える

3月6日に蚕桑地区の3分館による実践発表と渡部泰山氏による講演会が行われ、70名の参加がありました。最初は発表の「境分館」は、5町内32戸。分館長と町内長が兼務になっており、分館活動と町内行事が一緒に行われていて、稲荷神社鳥居と神社境内のしめ縄作りの講習、11月に雪囲いに必要のない「結び方教室」が行われ、多くの参加者がありました。



境分館 影山正久氏

次に発表のあった「下町分館」は、東横田尻の14町内、46戸で運営しています。子供会育成会が4軒7名と少子化の波が押し寄せる中、子どもたちの地域の人とのふれあいの場として8月に納涼大会を開催。また、1月3日に新年会を独自に行っています。

最後に発表のあった「佐野分館」は、15町内52戸で構成。8月に開催される佐野夏祭りは、千円の協賛金をもらって食べ放題、飲み放題で行われます。



下町分館 町田和雄氏

10月にはふれあいの広場を開催。これは、20年の歴史があり、今年はずら歴史が軽スポート「ペタンク」に挑戦し、40名の参加がありました。2月には春に行われる佐野稲荷神社の祭典の準備として、老人会を中心にわらじ作りと笛や太鼓の練習をしています。

それぞれの分館が地区民の交流を深めるために特色ある行事を行っていきますが、少子高齢化の影響で参加者を集めるのに苦労されているようでした。

第2部は、山形大学大学院教育実践研究科教授の渡部先生をお呼びし「地域おこしと最上川」と題し講演を頂きました。



佐野分館 小松進治氏

新採で7年間荒砥高校の教壇に立つておられ、白鷹町は「第二のふるさと」として愛着をもつて話される高玉芝居や古典桜を財産としてどのように残し、観光につなげていくか。それには、若い人の参加が大事だといふことでした。白鷹町と景観の似ている信州の安曇野が、芸術をうまく取り入れ住民独自の地域興おこしに成功した例は大変興味深いものでした。「地域おこしは人づくりから」若い人や外部の人のアイディアを柔軟に取り入れ、地域活性化にどうつなげていくか、今後の課題が見えた有意義な講演でした。



荒砥高校時代の教え子も詰めかけた渡部泰山氏の講演

折り紙教室

3月2日（水）、10名の参加者と折り紙教室を行いました。四角い小箱を作りました。講師は皆川幸子さんです。ピース数が前回より少ないため一つずつ確認しながら進めました。ピースを組み合わせ一つだけ形が違っていたときには「どこで違ったのか」「ここが逆になってる」と隣同士で考え、教え合っていました。予定より早くできあがり、色とりどりの箱が並びました。



むつみ学級閉級式



3月7日（月）、閉級式を行い、町唯一の女性議員である関千鶴子議員から「これからのまちづくり」と題してお話をお聞きしました。議員は、町の産業について「日本の紅をつくる町」として紅花を利用した産業展開や、まちづくり複合施設事業についての考えをわかりやすく話されました。むつみ学級生は、今まであまり関心のなかった複合施設建設について、議会を傍聴し関心を持つことが大事だと感想を話していました。

活き粋き学級 閉級式

3月11日（金）、地域包括支援センターより講師をお呼びし、認知症サポートや認知症予防に関するお話をお聞きしました。認知症予防の一例として、体を整える軽運動・脳を働かせるための脳トレを行いました。脳トレでは「わかっているけどスムーズにできない」ことがなんとも楽しく、皆さん思わず笑みがこぼれていました。



「ミセン」を利用される皆さまへ

3月6日（日）、蚕桑地区桜の里づくり推進委員会理事会で、土曜管理人を廃止する提案があり、承認されました。したがって4月より土曜日は閉館になります。使用の際は事前の申し込みと、千成さんから鍵を借りてご利用ください。ご理解・ご協力をお願いいたします。

ありがとうございました 土曜管理人 皆山清彦

地区公民館時代も含めると、十四年余り土曜管理人を務めさせて頂きました。これもひとえに、蚕桑の皆さんの温かい支えによるものと、心より感謝しております。

山形市に生まれ、還暦近くなつてから蚕桑に移り住んだ私には、妻の親戚以外知る人は誰一人いませんでした。それが近頃は「白鷹出身だが？」と、からかわれる時も。すべて地区公民館で長年、色んな人とお会い出来たお陰です。コミセンからは離れますが、蚕桑の住人に変りはありません。これからどうぞ宜しくお願いします。



平成27年度 各専門部会から活動報告と今後について

総務部会

「地区公民館」から「コミュニティセンター」に移行した初年度の任務は、「新春のつどい」が初仕事でした。蚕桑地区の各役員の方々より多数の参加を頂き、山口地区の分館長・書記の方々も素晴らしい総務部役員と共に、成功裏に終わることができました。3月6日に行われた「研究集会」では、受付や司会進行などの任務を任せられ、分館発表や渡部泰山氏の講演もスムーズにいきましました。総務部会としては、地域の皆さんと一緒に住民相互の交流が行われる地域社会づくりに参加したいと考えています。地区の皆さんのご意見をお聞きし、運営を図ってまいりますのでご協力よろしくお願致します。

部会長 福嶋亮一

地域づくり部会

今年度は、湧泉パークの管理、高玉芝居の定期公演の二つを重点に取り組んできました。湧泉パークの管理は、蚕桑地区桜の里づくり推進委員会が町から委託を受け、公園内の草刈や噴水、池の清掃等を行ってきました。平成28年度以降は「湧泉パーク管理委員会」を立ち上げ地域づくり部会が「支援」して管理することになりまし。施設の老朽化が進み、修繕を要する箇所が多く見受けられるため、推進委員会を通し町に要請するように提案しました。

部会長 湯澤信弘

高玉芝居定期公演は、今年度から期日が11月23日に変更になりました。今年度も大勢の方に鑑賞いただきました。

生涯学習・体育部会

生涯学習・体育部会は、文化祭の前に草案作りをし、イベントの内容を検討しました。当日はコミセンの店も出て、子どもたちの参加も多く大盛況に終わることができました。さくらホールいっぱい作品が並ぶ文化祭は他地区に例を見ない蚕桑独自のものですが、マンネリ化の声も聞こえていますので、今後の在り方を検討していく必要があるかと思ひます。また、体育振興会と共催してパークゴルフなどの軽スポーツも企画したいと考えています。

部会長 古名順二

防犯・防災部会

昨年蚕桑地区では雪も少なく、大きな災害に見舞われることもありませんでしたが、それでも交通事故は18件（人身事故は2件）発生し、さらに町全体では人身事故は45件発生し71名の方が怪我をしています。

またオレオレ詐欺などの特殊詐欺が町内で2件（被害額約2500万円）発生するなど予断を許さない状況です。

防犯・防災部会では昨年は目立った活動はできませんでしたが、関連する各機関、団体の皆様とともに安全・安心な蚕桑地区を目指して、積極的な活動を展開していきたいと思ひていますのでよろしくお願ひします。

部会長 加藤晃一

雑がみ回収袋について

白鷹町衛生組合連合会ではこのたび、紙類の資源化をさらに推進し、可燃ごみを減量化するため「雑がみ回収袋」を作成しました。可燃ごみで出されている紙類には、リサイクル可能なものが多く含まれている現状であり、これを資源回収に出した場合、有価物として売却され、町の収入になります。より多くの紙類を資源回収に出していただきますようお願いいたします。

※平成28年4月1日より、各コミュニティセンターと連合会事務局に200枚ずつ配置します。希望者は窓口にてお受け取りください（原則一人1枚）。

★問い合わせ 白鷹町衛生組合連合会事務局（町民課くらし環境係内）

85・6131

青パト車協力のお礼

今年度青色パト車は、秋からコミセン車を使用し、防犯連絡員をはじめ、民生児童委員、むつみ学級生、一般の方など延べ104名（42回実施）の方々にご協力頂きました。

大変ありがとうございました。同乗者を随時募集しておりますので、ご協力頂ける方は、コミュニティセンターまでご連絡下さい。

☆青色パト車

原則 毎週木曜日
午後3時から約1時間



町駅伝のタスキの色が目印
各地区コミセンカー

地域おこし協力隊 石井紀子



「来てよ」と声をかけていたが、見守る大
人達は稚魚に小学生の姿を重ねていたでし
ょう。

公民館にて今年度の活動
報告をし、常福院の仏像
と安楽院の欄間彫刻につ
いて話しました。ここで
詳細を記載しなかったの
は26日(土)10時から白
鷹町産業センターにて報
告会を行うためです！ぜ
ひご参加下さい。詳しく
は今月の町報に掲載され
ています。



3月8日、蚕桑小学校
2年生と地域の有志の
方が鮭の放流を大鮎貝
川で行いました。命の
大切さと生態系からみ
る循環型社会の重要性
を教えるために鮭の稚
魚1万匹を放流しまし
た。下流ダムや大海原
での天敵(人間を含め)
など困難を乗り越えて
川に帰ってくる鮭は20
匹いるかどうか。旅立
つ稚魚に向かって小学生
達は「大きくなって帰

農業講習会

3月11日(金)、佐野公民館において、
山口の里づくり農業・交流部主催の「梅
の木つぎ木講習会」
が行われました。
17名の参加者は、
西置賜農業技術普
及課の講師金田紀
子氏の説明に耳を
傾けておりました。
また、実地研修で
は、間近で見れる
ように背の低い木
を囲んで、真剣に
学んでいました。



山柳

蚕桑交柳社作品

課題 「形」
花野まで形どうあれ共白髪
背を曲げた影よ確かに俺なのか
形では人の心は見抜けない
課題 「無効」
騙された気づいた時はもう無効
解釈の違い無効だ有効だ
無効なし期限は問わぬ母の愛
ユーモア句
婆ちゃんよ美肌葉は無効だべ
無効かと思うが化粧やり直す

笑柳 一杯
案柳
耕心 八重
阜月
南柳 四蹴

これからの予定

- 3/24(木) コミセン防災研修会
- 3/26(土) 地域おこし協力隊報告会
「パワーセンター」
- 4/14(木) 体振 理事・事務局会
- 4/21(木) 体振 評議員会



あとがき

先日折紙教室から折紙の
興味を持ち、紙教室から折紙
の楽しさを伝えるため、折紙
の折り方次第の紙教室は、紙
の折りやすさを折り紙の魅力
と伝えたい。折紙教室は参加
者の「やってみたい」という
行なった事業です。来年も
い企画をしたいと思います。来
月の企画をしたいと思います。
トものがあつたから、ぜひ
（すずき）

◆休館のお知らせ◆
3月24日(木)の午前9:30~午後1:30まで、
コミセンの防災研修のため事務所を閉鎖します。
ご理解・ご協力をお願いいたします。